社説

商工業者は政黨に入る可らず

新聞紙の報ずる所に據れば府下の商工業者は率先して政府黨組織に盡力せんとしたれども思ふ所ありて遂に此事を謝したりと云ふ是れまで商工業者が政治部面に關係しもせず議會の議決を他の爲すがまゝに任じたるは不心得なれども是れとて自から政黨に加盟するが如きは我輩の解して取らざる所なり今日の議會は所謂町人議會にして自から商工業者の利害を重んずるの傾きに非ず例へば議會の營業法改正案に付ても政府が市と郡とを別立の選擧區として人口五萬に付一名の議員を出し郡部は人口五萬人に一名と定めたるは偶然に非ず商工業者の議員と農民とを比較するも又地租五圓以上を納むる者と別段の營業稅を納める者との割合より算するも商工業者は凡そ三分の一の議員を出して至當にして三分の一を出すには町は獨立の選擧區を設ける論きが故に之を市に算入して五萬に一人と為したる次第なるに然るに議院が之を修正して市の代表者を減じたるが如き只に事情の大既を察するに足る可し左れば商工業者も議會を只で使所事とせず自から議場に向して其利益を守護する可きは當然のみとなれども一歩を進めて政黨に入るが如きは軽率自から誤るものと云ふ可し元來商工業は政黨の外に獨立す可きものにして時々ならぬ黨派の勢力に依て壓迫せしむる事の獨立は最遠の基にして他の勢力に左右せらるゝものは到底營業するも得ず例へば學校の如き所しも獨立生徒が政黨の外間に入り內閣の圧迫を受くる樣にては迚も學問教育の發達を期す可らず即ち官國大學を獨立せしむ可しなどの議論あるも學問教育の獨立は政黨の外に獨立せしめんとするも同樣の理由にして商工業の人が黨派の名を以て一方に味方するときは同時に他の一方には敵を受る可し自家の本業に利害もなくして徒に他人に使ひして何ぞや或は單純に營業する者は獨立の外に自己の營業に關して他人を使ひせしむるみとなるが故に政黨の爲めに利用して時を費し金を費やす勿手次第なりとするも會社銀行の目的は唯利益を得るを主とせざるべからず黨派の爲めに利用して時を費し金を費やすは目的に違ひて所謂本末を轉倒するものなり商工業者は政黨